



新板
徳入

金銀紙の巻

下
伊勢



1617
4



1617
4



下伊勢新

金まゆねぢぬくまをく回

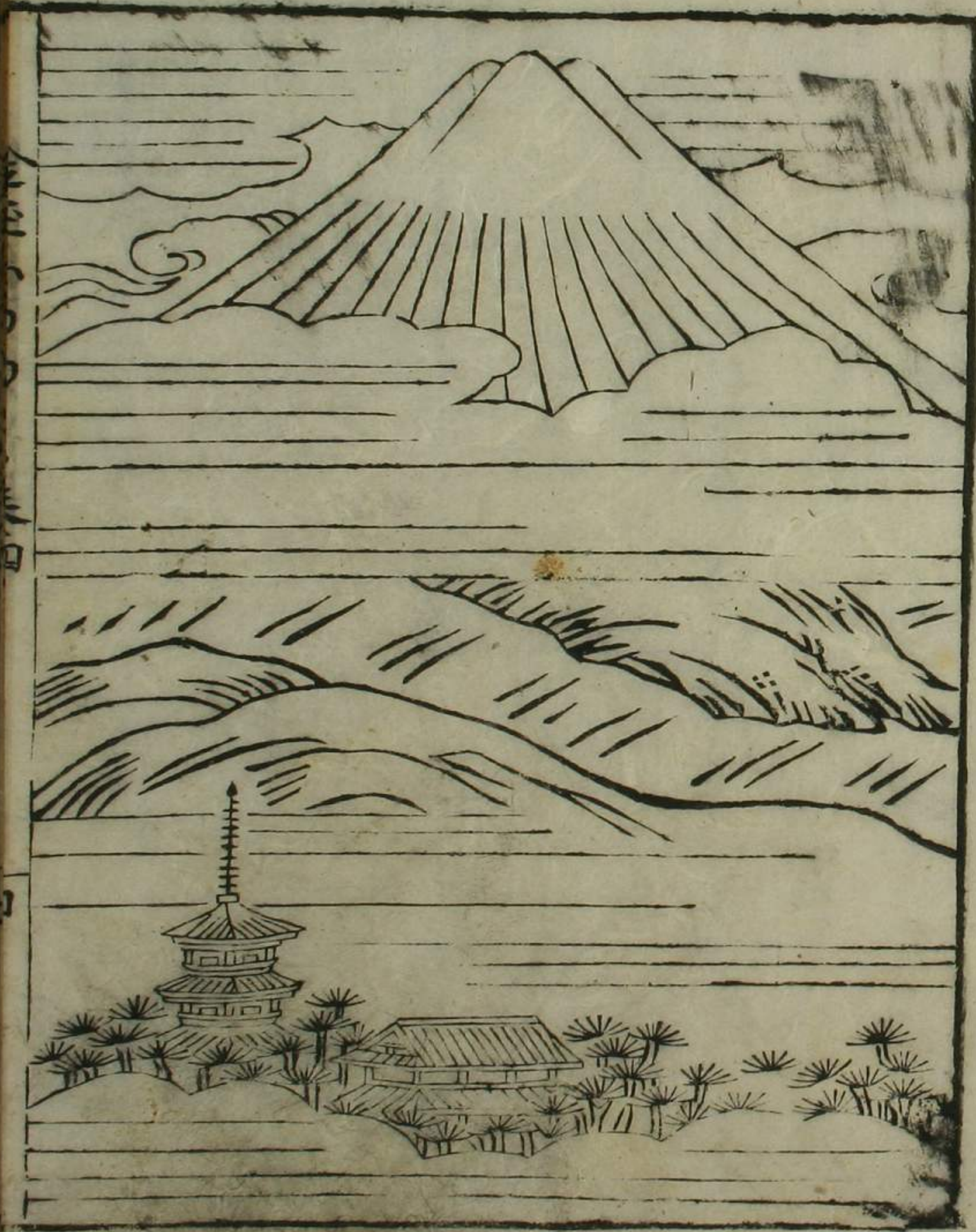
多士此龍乃山

天文乃比さるる公家の青信二人法眼輩れ中よ
別て保く交りたぐひよ死ハ二歳といひくじ
て兄弟れちさうとさうなりさうゆらよ一人乃
のその盛衰之常なること親ト皮む川
海とて眼堂よ保りさうハ世ま一人れまよあ信
百年ニ方六千目ハ光陰ハ奔り前下海の水れ
如くハ内小浮雲の氣と物づひ如泡乃實を
あつちて表電ハ身と身なり小菊のハこれ



養なりし一とさう百年を保んうははうあはれ
と名利のふはうのまきさぬくはた標とうして
一生を苦むしころあひな記りさるき種さ
よ格道してさうあうさせさうい三衣之輝
西さぬとわうくわぬ新く徳を徳ひ一先
ぢれぬ事とんて角あふは経初うは交生死
と難れ未未の来く真如法性の教ふ立海り
いさく死ひ死れバ目比うなく掲うせ一中
れらさうとを意うぬわうさふなううれ一く
有り命なううて二交立るん事をもさ定なれ

身いあされんわうくハ立か一財を其用とし
て二海乃廻向とをなり一終りきと念ころま後れ
ハ皮人いしてとり小格及一さて色象特乃教
を我とをも同一如西路赤電乃ううのうなれ
を何うそのまは世我合つるいさやとりよ
を心ととげ徳國と同行とてあううみさのまで
色一運徳生乃ちさうととたう一さて二入等一
く徳とさう若れ狭ふはあをう一人ハウの成
善知と改め今一人ハ春母と字てりうまを乃公
とんごよはさあひすぬ一それありあまあ



敵後とありてぬりては事とて毎ふひ其
 目もやうくよそれね後まじもあはじいやど
 つもななくかあといふやせし程ふとも山陰
 小松乃生位とて多くておまひく小松あり
 家形ありし秋乃折産此際ありし折乃親
 のうおて人の言なひいさくは二人此法師
 もろこびあみさを押あけては後乃若と表
 うんと目のやうす残窟くはあひまや作り此
 梅やとされのよまうつひ其月海なるせし此
 けも程ぐりし書儀のしりしをゆけ難

して平はうらめや産人打乃折小早とさ
 て見奉ふ早紙とせうげ縁入らあうと毎共
 うらうらとせふたぐひなく八十程好ふ二千三箱
 梅他属乃十糸う宝業文此を真うりつと毎と
 果れ此女なるべしうと郡乃山中小か絶の
 女のみ平人あつては其あふ人此絶絶を
 見ふは勝つては名一此水色なり二人乃法師
 たりひをうらめよめて是ハ果絶つては女の
 こゝろで道絶とけぬとげ色し愛款乃を
 おこつては其たのろを寤あてりきくを寤せ

金王院の巻四

んるふちをれぬけをきつて二人がをいさう
きんこうあつらひのなるべー
室をれつぎんころいかに
わつてえあううきげ後代なふたえ
たうこそれれせト一まうらう
おち色一川のせりれ種なき
河ぞうりー性種とえん
のさびくまゆと種くは
がふせせんやうれ送よ
くれゆはあふる者色なりー
種がうらうのうりれ

をよれて一疾れを向をりー
ろさだるきー
神よ諸もー
あま色バ法縁のる
ゆひのあるー
るす小田向
りーあう
人れ道公
者あせよ室
あだる

さんご昔一くはあゝ此は海とてこれ中
 宿禰りなまのり一宿あバ女りきるあ
 色情志れる人せりけして孫人と痛り
 宿りぬはよ宿傳よは宿あせゆ半一る守中
 色こあてハ一くは宿よたが一わまればこ
 ちあ入入中一とて一宿なる宿あへ宿ト一宿
 食の宿あぬと立切それよぬやすみゆへとて又
 元れ宿あふ向ひ宿あぬ宿入ぬとて宿あ
 わりよとんれば宿あぬとて宿あぬ宿あぬ
 宿あぬとて宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ

一あは宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 の女れ一宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 てハ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 宿あぬ一宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 せハ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 て宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ
 宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ宿あぬ

海でいづれなりしきどりて是も舞紀乃りわざ
 なるべしと云ふつちて窺ひ居らればくの車は乃
 音せんくして逃くといふ人居れあふく
 鳴やとねるどれ人馬ありありと見えんて
 ずれば音ぐくといふもねての自れ海なる
 ありんと學ぶぬれ影ありありの齡三柱年れ男
 知向く若きといふるが紅乃神事と云ふち
 白糸れぞしれ鏡ぞこれよ白枝のなれを
 を推へあこたをあげて回へるね皮おんを立
 お今居れ前尾はいつと回へるあゝ愛念こよ

ひも、あだりて回となぐりねるてゆみ別よ草
 轉二足ありとて其後と云ふち居られ今居
 縁乃まおひ若きとて由傍二人りてせ給を流
 海のた光者一集せとてさあゆとりつあこ
 それいらく小海せたるあうとのあをいりて二
 人乃法師守海をいわけ給くあてひれる守小
 てゆひ一とて海は海ひ目よ折くれ一房乃
 ちをり街たひれがれと晴しゆらうと休長
 ういしけおれりしせは皮れとこ二人れを
 とあてさてくういれあゝこれ境界

よ残ころ中傍一截乃流るんふあつてまのや
と輝一あつほけ若葉と海ぬるぐーとあり
くくそひひとてはぬくふりてなりせれハ二
んれ道んさうあてを君あいつか出方れ園あふ
てくやれあふれせぬおれやれ名をばあひせ
ぬとらばまぬこのよ同どうちりあつて
はぐりせれどせれぐーはたれる我の十命
積成これある者ハ大輝のころ二人あつてハ
我が果のあつとさへーうと鬼魂ハ教百歳の若
のりふとハの邪信の罪よりまてあつてあつ

道れやーとて交信なるはるまてを終る
乃又命時定あつてせうあつ箱根不すんで毎
日は花後傍乃功カおれ今今人あふ立ゆ
甲別信乃初ニテ園れあつて本日晴信入道
信云となれり結きごを隠せぬむれぬ
ふあつて前生れまてとてれぬハ信信
を他へて遊若とあり我信とてせ隣佛
成均せーわたあつと別り不金れ同書や片
一死あー二人れ信あつてのりや信を
いさう交われハ暫くはとらみつとまをは

一たりませと曰へ一巻ふらうと新く松久
 ぬれ音おれどらうと松とわのいげとあつとせとれ
 八回阿座作れやうと力入一八松お海の高
 とれうあると此松の思ひ一八若るのくた松
 存後乃まふ二人光松とれまうとてや一山あり
 乃下向返よ松不田別入立松へ平れ同松と
 等く在松色とらうまの信ますかりち野
 ると懐中一のう目書とらう一八松一今
 此片一不合てんまの金とらうと一具一
 て分らうと書りされ信まなみとせとらう



金五郎の松久と書

ては密靈れつらせんのため子部れ終を書家
して千倍を望んでくるとし其後の二人は倍
とさあつてなり一邦へれくう論されぬされ
信玄終乃お不動一ぬ大おの何とて目費乃
一果一たまへて世不難れとせうとせりつて
かくまで信せられしうと世の同流と恐れ
はげんたんとすれあう梅一たれよとあざり
後りるく用けしを強よ其ゆびとだん
く七月あよきくたのきこと信てあけけ
おびす一此同おらとあざりと舟はくあり

う子細あつて一そ深くはしをせお細
流ひ一う今れあねと一果せ一故うこりひ
色なくせうと不用ひのひ一こなりうう
奇特とれり一有同法者三一威備れた
り一難有うるとせあ事とせななり

若狭祖母

若狭越前お契能登越中又チあつるを
いひまひ一して信とせとせあね一人は能母と
あみ十ばうるとあみんてあららハ老れと
一暇中ハ善く老うて甚ハ一まのをた

にわめしやはさうして... ちうつのみ... 侍の... 色... あり... 志... せす... れの... 山... 見え... 見え... 見え...

お徳守る事あり... あり... 乃... 新... 司... 世... あり... せん... け... 何...

我を其様人ぞとてにたごせんと命承くよ
 つひうへぬるに病ひをなく盡せぬけすめを
 うすぬに然色なくたのしみをなく歎色あ
 く念をわすれて病も百室も回つた運を
 何とぞ行ふ事わづらひんぞれつらんれぞ
 色空ぞとび水ぞうけつと色かぐぬれぬ
 勢こつたつに昔種たや若後乃水漬小僧で
 一人此漢前と歎やうとけ病山ありあて備よ
 為さなき毎日我歎く立ちあつて父とこの小僧
 残のこぼるぬわの付前我すじし中世後と

ちかれ月乃のちを一一は異よ何家なり
 く喜人ばら美名とつう美名とた一一あ
 かり本門で轄くなくと人こそいらざあひ
 海にぬらへ病とこのよ中人をてえれはを
 よれりうと何家より見はぬの因この見
 へんさをう唐渡ふ本はうと一一異この先
 ちあ玉石ふしてふ色れ老うまの一人侍ちま
 ちあみの唐本よりしてはぬぐれやわれぬ花を
 らきうせんたん此樹るより異音何よ和
 てえんド候へ脚の音の音あふ志くふ不似く

云々不仙（五言）不（二言）失（三言）去（四言）行（五言）くち（六言）やれ
 生（七言）のゆ（八言）不（九言）一（十言）河（十一言）の（十二言）房（十三言）と（十四言）あ（十五言）む（十六言）人（十七言）集（十八言）を（十九言）抱（二十言）を（二十一言）寄
 竹（二十二言）と（二十三言）以（二十四言）て（二十五言）建（二十六言）た（二十七言）く（二十八言）其（二十九言）の（三十言）あ（三十一言）ら（三十二言）う（三十三言）く（三十四言）う（三十五言）め（三十六言）る（三十七言）幸（三十八言）と
 言（三十九言）は（四十言）く（四十一言）の（四十二言）い（四十三言）ま（四十四言）の（四十五言）く（四十六言）は（四十七言）く（四十八言）れ（四十九言）と（五十言）し（五十一言）を（五十二言）あ（五十三言）へ（五十四言）後
 一（五十五言）て（五十六言）あ（五十七言）と（五十八言）を（五十九言）ち（六十言）は（六十一言）あ（六十二言）く（六十三言）の（六十四言）目（六十五言）も（六十六言）れ（六十七言）ぬ（六十八言）昔（六十九言）も（七十言）子
 と（七十一言）孫（七十二言）子（七十三言）の（七十四言）り（七十五言）う（七十六言）孫（七十七言）子（七十八言）と（七十九言）わ（八十言）ら（八十一言）い（八十二言）ち（八十三言）孫（八十四言）子（八十五言）と（八十六言）あ（八十七言）ら（八十八言）う（八十九言）ま
 る（九十言）人（九十一言）間（九十二言）の（九十三言）境（九十四言）界（九十五言）と（九十六言）い（九十七言）ん（九十八言）だ（九十九言）昔（百言）も（百一言）子（百二言）と（百三言）あ（百四言）ら（百五言）う（百六言）ま
 る（百七言）味（百八言）の（百九言）い（百十言）ま（百十一言）ず（百十二言）ふ（百十三言）ら（百十四言）ほ（百十五言）の（百十六言）云（百十七言）天（百十八言）は（百十九言）事（百二十言）も（百二十一言）あ（百二十二言）ら（百二十三言）れ
 じ（百二十四言）く（百二十五言）一（百二十六言）一（百二十七言）暫（百二十八言）く（百二十九言）も（百三十言）て（百三十一言）さ（百三十二言）う（百三十三言）あ（百三十四言）ら（百三十五言）ぬ（百三十六言）其（百三十七言）因（百三十八言）こ（百三十九言）と（百四十言）て
 三（百四十一言）二（百四十二言）歳（百四十三言）を（百四十四言）い（百四十五言）ら（百四十六言）れ（百四十七言）ら（百四十八言）う（百四十九言）く（百五十言）記（百五十一言）嬰（百五十二言）兒（百五十三言）は（百五十四言）死（百五十五言）ぐ（百五十六言）い



ともあ板木のせゝらるまへて是と辨^{わか}り
 一昔^{せひ}後の残^{残り}りのりて片^{かた}あはさく
 けあ^け神^{かん}仙^{せん}のたぐひあわはる鬼神^{くわんじん}へん
 他^たのりびぢあ^あん^んとて恐^{おそ}う^うら^らとなく
 皮^{かわ}さうあ^あひて色^{いろ}うけ^けざうと一^{ひと}とせ^せふたぐひ
 むに珠^{たま}練^ねなる^{なる}とて二^{ふた}つれ^{つれ}を^をま^まは^はの^の一^{ひと}
 はさみて片^{かた}あせ^せば禱^{いた}する^{する}も^もう^うれ^れが^がゆ^ゆふ^ふ
 うん^ん事^じた^たう^う後^ご一^{ひと}く^くてせ^せひ^ひなく^{なく}鼻^{はな}筋^{ぢん}へ^へ
 吟^{ぎん}ふ^ふ息^{いき}一^{ひと}て懐^{なつか}中^{ちゆう}へ^へ今^{いま}も^も一^{ひと}剣^{けん}へ^へ立^{たち}立^{たち}は^はら^らん^んを
 登^{のぼ}れ^れの^の足^{あし}あ^あま^まう^うせ^せて^てあ^あけ^けぬ^ぬま^まう^う若^{わか}あ^あを

ありあつらう^うま^まの^のや^やこ^こあ^あま^まう^うは^はす^すて^てい^いま^ま
 さ^さは^は返^{かへ}て^て懐^{なつか}中^{ちゆう}へ^へは^はち^ちう^うあ^あを^を捨^{すて}て^てら^らも^もな
 く^くや^やう^うく^く我^{われ}を^を入^{いれ}て^てい^いと^と死^しま^まひ^ひ暫^{しば}く^く
 る^るて^て百^{ひゃく}倍^{ばい}つ^つて^て皮^{かわ}を^をす^すて^てま^まと^とせ^せな^なく
 せ^せれ^れ一^{ひと}は^は種^{たね}を^をせ^せて^ては^は時^{とき}を^を何^{なに}も^もなく^{なく}は^はま
 海^{うみ}の^のま^まう^うと^とな^なあ^あう^う一^{ひと}と^と引^ひら^らし^して^ては^はう^うあ^あを^を
 見^みん^んの^のい^いれ^れこ^この^のお^おま^まを^をひ^ひら^らし^して^ては^はま^まの^のお^おま^ま
 は^はた^たい^いを^をも^もと^と毎^{まい}ひ^ひら^らし^して^ては^はま^まの^のお^おま^ま
 人^{ひと}あ^あま^まの^のい^いれ^れこ^この^のお^おま^まを^をひ^ひら^らし^して^ては^はま^まの^のお^おま^ま
 う^うの^のお^おま^まを^をひ^ひら^らし^して^ては^はま^まの^のお^おま^ま

されば志をくく遠征したるをどうのいふを
御室もやあつせんは小兒れ死つて日久
一人をとりて其乃肉なるをどうのいふ
博學なる人れ神なりといふも一も我
これと云ふる人合する事ありては我
是を言して壽命百歳を治たりとあり
たく遊樂仙術れたるいふありては
修り成就よ人ありて老死の事業といふ
つゝたまたまおほそを言ひたりとて
此人どうのいふればは是れ也命なる後

いふはうあり候とて一昔あり他人
ふれの人ありて不和漢の事ありとて
我にせられども其一人て世生の人
色あも世界よは是の人のいふ百歳あり
円ありて是れ乃異凡の神也といふ
うが不徳鬼ハ貴族とていふとて又盛
の仙人といふありて一昔ありて
いふありては人其徳とて未だあり
名のうちをて人の仙人といふ竟然文本同

金五...

公孔子佛はあてはみざらばかあるがゆゑ
 其の号子源子と公を張良後晉自孔明
 是の事と又本他その人をしてより教千
 年を流れども今もそのまので其の良者く
 ちの良人仙人孔令と船小生るとたりと
 大なるの切が事なりんう

下伊勢新

金華秘蔵

上野北河町持四番地
 毎坊屋
 岡 新兵衛

